

あけましておめでとうございませす

市民の皆様並びに星の降る里村民の皆様にご謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、旧年中は市政運営にあたり格段のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

昨年を振り返りますと、民間有識者会議である日本創成会議が、東京一極集中や若年女性の減少に着目した将来人口推計を発表し、日本が現在抱える人口減少問題、高齢化社会の実態を改めて浮き彫りにして大きな話題を呼んだ年でありました。経済面においても消費税率の引き上げ、電気料金の値上げ等々、暮らして大きな影響があった一年でもありました。

このように芦別のみならず自治体と住民を取り巻く環境は依然として厳しいものがあります。今こそ芦別市民が一丸となり知恵を出し、挑戦する気持ちを高く掲げ、この難局を乗り越えて次代へつなぐ豊かなまちを築いていきたいものです。私が就任以来進めてきた「人と経済」を基本としたまちづくりを今後も鋭意推進しながら、市政発展のために粉骨砕身の決意で頑張っておりますので、皆様方の一層のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

皆様にとって平成二十七年が幸多く素晴らしい年になりますよう心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成二十七年元旦

芦別市長 清澤 茂宏



年頭の

教育委員会

委員長 兼好 哲哉

選挙管理委員会

委員長 菊地 孝

監査委員

湯浅 哲也

滝 勝美

農業委員会

会長 川原 光広

公平委員会

委員長 堀川 徹

固定資産評価審査委員会

委員長 大西 俊夫

芦別市消防団

団長 高砂 裕司

市立芦別病院

院長 細川 寿和

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年は、人口減少問題が全国的に取り上げられ、芦別市においても人口減少に歯止めをかけるべく、さまざまな政策が打ち出されており、今後においても取り組んでいかなければならない課題であります。

そうした中で、一昨年、2020年東京オリンピック・パラリンピック招致決定に引き続き、2026年冬季オリンピック・パラリンピックの開催都市に札幌市が立候補することとなり、招致に向けて北海道全体の機運が高まり、景気回復の一翼になることを期待しているところであります。

さて、本市議会におきましては、議会の果たす役割と責任の重要性を再認識し、より一層の自己改革を進め、議会機能のさらなる充実を図りながら、山積する重要課題に努力を傾注してまいりたいと、決意を新たにしているところでありますので、皆様の市議会への変わらぬご理解とご支援をお願いいたします。

結びに、今年一年が、市民の皆様にとりまして、素晴らしい年になりますよう心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

平成二十七年元旦



芦別市議会議長 池田 勝利

芦別市議会

副議長 吉田 博子

議員

若松 市政

今野 宏

滝 勝美

小川 政憲

松井 邦男

松田 保

中島 隆義

田森 良隆

高橋勝次郎

日沼 昇光